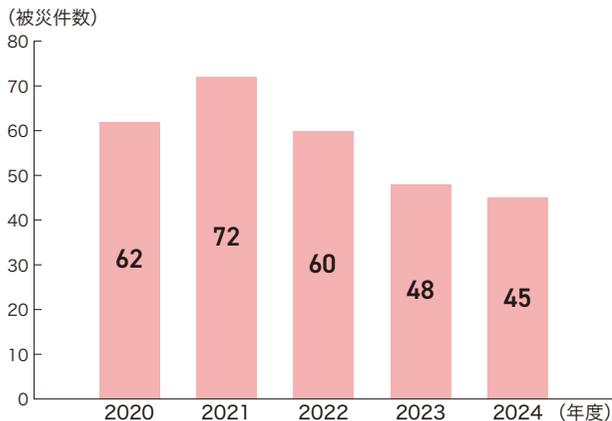


激甚災害からの早期復興

近年、大型台風や集中豪雨、地震などの自然災害が激甚化・頻発化しており、その影響は全国各地に及んでいます。特に、想定を超える雨量を記録する集中豪雨や線状降水帯の発生、大規模地震（南海トラフ地震、首都直下型地震など）、さらには、それに伴う津波・火山噴火といった複合災害のリスクが高まる中、日本列島全体が新たな災害リスクのステージに入っています。

こうした環境下において、当社グループにとって復興への第一歩は、被災した自社プラントの迅速な復旧にあります。アスファルトプラント及びコンクリートプラントのトップメーカーとしての供給責任を果たすべく、当社はお客様との緊密な連携のもと、災害発生直後からの迅速な対応と早期の操業再開に全力をあげて取り組んでいます。

日工製プラント自然災害被災件数の推移

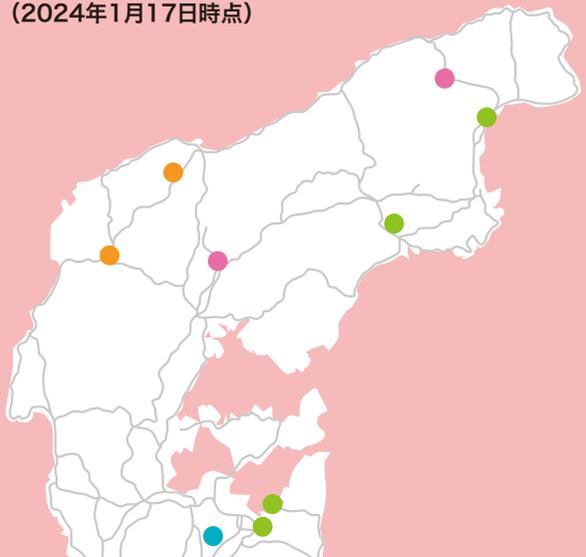


令和6年能登半島地震における日工製プラントの復旧状況

能登半島地震により甚大な被害を受けた地域では、物資輸送やライフラインの早期復旧のため、寸断された道路の整備が喫緊の課題となりました。これに伴い、復旧の要となるアスファルト合材工場やコンクリート工場の操業再開が強く求められました。

当社は、これらの施設に納入した製造設備の被災状況を迅速に把握し、お客様と連携して復旧作業を最優先で進めました。特に、北陸サービスステーション（金沢市）においては人員を増強し、現地対応体制を強化することで、被災地の早期復興を全力で支援しました。その結果、稼働が困難となっていた8基のプラントのうち、2024年2月16日までに北能登地域における解体となった新規着工1基を除いてすべての日工製プラントの再稼働を確認しています。

日工製プラントの被災状況 (2024年1月17日時点)



当社製設備を納入している工場の状況

- 稼働可能なアスファルトプラント
- 稼働困難なアスファルトプラント
- 稼働可能な生コンクリートプラント
- 稼働困難な生コンクリートプラント

被災後の早期復旧に向けた対応

能登半島地震による被害に対し、当社は被災プラントの早期復旧を最優先事項として、以下の取り組みを段階的に実施しました。

1月4日より、北陸サービスステーションの所員及び協力会社と連携し、お客様のプラントに対する巡回点検及び復旧作業を開始しました。現場では、プラントの被災状況や復旧の進捗、現場ニーズの把握、労務対応などについて日々情報を共有し、復旧工程の次のフェーズに向けた対応を協議・実行しました。

さらに、1月15日以降は復旧の段階に応じた応援体制を本格的に構築し、以下の人的支援を展開しました。

- ◆ 中部支店よりフロント業務スタッフを現地に配置
- ◆ 本社保守サービス部門より、社員2名及び協力会社スタッフ2名を含む出張応援体制を整備
- ◆ 技術部門からは、プラントやサイロ類の座屈に関する技術的判断・設計支援のため技術要員を派遣
- ◆ 本格復興フェーズ（プラントのリニューアル・更新）に合わせ、アスファルトプラント（AP）、バッチャープラント（BP）、モバイルプラント（MP）各担当社員が現地に常駐し、継続的な支援を開始

これらの体制強化により、お客様との緊密な連携のもと、迅速かつ確かな復旧支援を実現しました。今回の復旧支援を通じて得られた新たな知見や経験は、今後発生が想定される地震災害への対応力強化に活用します。